



MRSA感染率

<項目解説>

MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）は、鼻腔・咽頭・皮膚・粘膜・腸管などに常在しうる薬剤耐性菌で、健康な人には危険性はありません。しかし、抵抗力の低下した患者さまにとっては感染の危険があり、いったん発症すると薬剤耐性の面から治療が困難になる場合があります。感染経路は、血液や体液の汚染、医療従事者の手や医療機器・環境表面を介しての伝播などがあり、十分な対策が必要です。

本指標は、安全で良質な医療を提供する病院として、十分な感染対策を行っている点を評価します。なお、MRSA感染率はサーベイランス実施の条件によって数値が左右されるため、単純に病院間の比較をすることは困難です。

<当院の実績>

	MRSA感染率平均	MRSA罹患率平均
【平成25年度】	4.53%	3.63%
【平成26年度】	4.39%	3.53%
【平成27年度】	3.33%	3.00%
【平成28年度】	3.14%	2.60%
【平成29年度】	2.88%	2.60%

(%：パーミル＝1/1000)

<当院の自己点検評価>

医療関連感染は、適切な感染対策の実施により発症頻度を減じることが可能です。当院では医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師から構成されるICT（感染制御チーム）が中心となり、感染管理活動を展開しています。ICTは毎週各部署へ出向き、手洗いや個人防護具の着脱状況を確認・指導し、アウトブレイク（通常レベル以上の感染症増加）防止に努めています。

また、抗菌薬の届出制によるMRSA薬適正使用の実施や、平成22年度からはJANIS（厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業）への参加による疫学的データや感染症情報の収集など、積極的な活動を推進しています。

<定義>

- ・厚生労働省「院内感染対策サーベイランス事業」還元データ

MRSA感染率：MRSA感染症発症患者の割合

MRSA罹患率：新規のMRSA感染症発症患者の割合

<算式>

感染率（%）：(感染症患者数÷総入院患者数)×1,000

罹患率（%）：[新規感染症患者数÷(総入院患者数－継続感染症患者数)]×1,000